

キャラクター名  
シャーロット=レヴィル

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ハヌマーン	ワークス	レネゲイドパイレーツ	カヴァー	レネゲイドパイレーツ
オプション		年齢	16~18	性別	女
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	32%
出自	天涯孤独	経験	犯罪	邂逅	師匠にして父親

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	19
肉体	2		0			2	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2		0			2	戦闘移動	15
社会	1		0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	6	
運転：船舶	1		芸術：			知識：			情報：RP	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き猟銃	射撃	4r+10		Lv*2+4		攻撃する毎に[Lv]点のHPを失う

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
コネ：手配師	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者：雷神の継	P	N		
ミシエル・ワールド・ハート	P 誠意	N 不安		
養父	P 憧憬	N 不安		
両親	P 好奇心	N 無関心		
鳴海 莉音	P 連帯感	N 不信感		
マソップ・ハイアングル	P 連帯感	N 無関心		
	P	N		

最大財産P: 14    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
赫き猟銃	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 武器作成								
リミテッドイモータル	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： HPを[Lv*2]点回復								
コンセントレイト：ブラムストーカー	3	2	メジャー					
効果： C値-[Lv] (下限値7)								
滅びの一矢	3	2	メジャー	武器		対決		
効果： 判定ダイス+[Lv+1]個、HP2点消費								
血の宴	3	3	メジャー		範囲(選択)	対決		
効果： 対象を範囲(選択)に変更、シナリオ[Lv]回								
鮮血の修羅	3	6	メジャー		単体	対決	120↑、殺戮	
効果： 1点でもダメージを与えた時、クリンナップ時に[Lv*10]点のHPダメージ、メインプロセス終了時にHPを5点失う								
死神の疾風	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	120↑、殺戮	
効果： 行動値+10、ダメージ+3D、組み合わせ不可、シナリオ[Lv]回								
かしずく歯車	★							
効果：								
無音の空間	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【信念】楽しく、生きたいように生きる  
【夢】 潔く死ぬ  
生きるっつてんのに死に場所を求めている系少女

略歴：  
幼くして両親を亡くし、父方の祖母に引き取られることになる  
しかし、祖母にとっては自分の息子を誑かした女狐と同じ眼と髪を持った、息子によく似た少女など憎悪の対象でしかなく、奴隷同然に扱われることになる  
数年後、そんな生活に嫌気がさした彼女は、コツコツ貯めていた金銭を全て使い、遠く離れた町に行くことを決意する  
キャラバンに帯同したり、長距離バスに忍び込んだりしてようやく辿り着いた街で、彼女はストリートチルドレンとして生きていくことになった  
最初こそ余所者ということで苦勞するが、皮肉にも祖母の家で叩き込まれた掃除や炊事の技術が役立ち、日雇いで生計を立てていくようになる  
二日に一回の入浴、量は兎も角毎日食事が出来る、などストリートチルドレンとしてはかなりマシな生活を送っていた  
やがて、そんな彼女に転機が訪れることになる  
二日に一回程度、入浴の為に通っていた公衆浴場の女主人である老婆から、雑用の人出が欲しいから住み込みで雇われぬか、という誘いを受けたのだ  
無論、ストリートチルドレンである彼女に断る理由など無い  
こうして少女は、やがて親類のいない老婆の後を継いで浴場の女主人となり、安定した生活を手に入れることになる  
□□□はずだった  
後から振り返ってみても、何故この街だったのか、その明確な理由は分からなかった  
地理的にも商業的、軍事的、あるいは政治的にもならん特筆するところのない、いかなれ同じ国の中に探せばいくらでも同じような街がある、そんな街だった  
そんなありふれた町で、一人の不幸な生い立ちと言って差し支えない少女が、やっと掴もうとしていた「人並みの幸福」という希望は、木端微塵に砕かれることとなった  
要するにテロだ  
誰が何故、何のために行ったかは分からない